

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2022年 第45週（11月7日～11月13日）

今週のコメント

～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ増加続く」

第45週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は前週比8例減の1,001例であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ 2.32、1.09、0.47、0.41、0.28である。

感染性胃腸炎は前週比 8%増の455例で、南河内3.88、大阪市南部3.28、中河内3.20、堺市2.58、大阪市北部2.43であった。

手足口病は 12%減の214例で、北河内1.84、南河内1.81、堺市1.63である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 12%減の93例で、中河内1.20、泉州0.74、南河内0.69であった。

ヘルパンギーナは 11%減の81例で、大阪市東部1.00、泉州0.95、大阪市西部・大阪市南部0.50である。

RSウイルス感染症は 29%増の54例で、南河内1.19、堺市0.58、大阪市北部0.57であった。

インフルエンザは36%増の145例で定点あたり報告数は0.48である。大阪市南部1.26、大阪市北部0.85、堺市0.76であった。

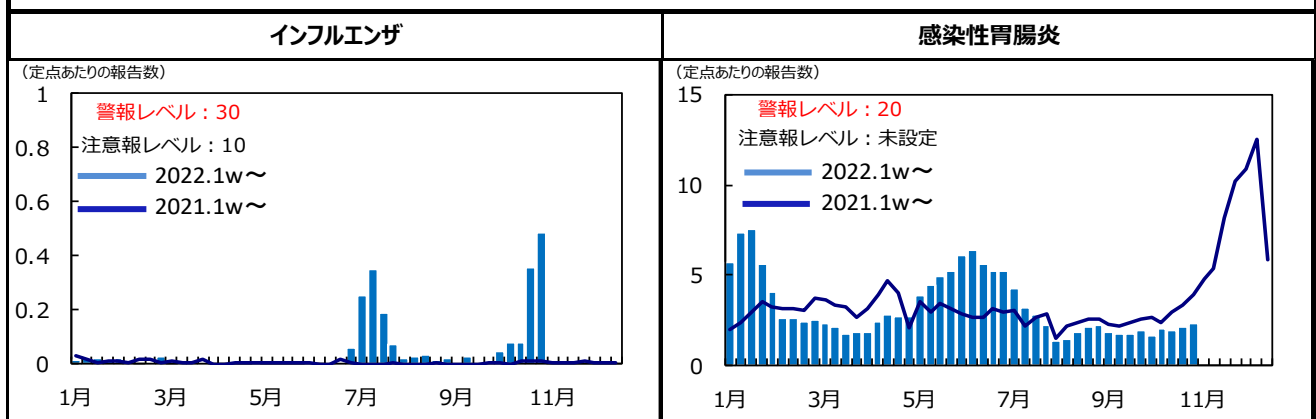


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2022年 第45週11月7日～11月13日）

| 第45週の順位 | 第44週の順位 | 感染症 | 2022年 第45週の 定点あたり 報告数 | 前週比 増減 | 2021年 第45週の 定点あたり 報告数 | 2022年第45週の 年齢別 患者発生数 最大割合値 |
|---------|---------|----------------------------|-----------------------|--------|-----------------------|----------------------------|
| 1 | 1 | 感染性胃腸炎 | 2.32 | 8%増 | 3.90 | 1歳_15% |
| 2 | 2 | 手足口病 | 1.09 | 12%減 | 3.60 | 1歳_36% |
| 3 | 3 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.47 | 12%減 | 0.42 | 3歳_16% |
| 4 | 4 | ヘルパンギーナ | 0.41 | 11%減 | 0.99 | 1歳_27% |
| 5 | 6 | RSウイルス感染症 | 0.28 | 29%増 | 0.11 | 1歳_26% |
| 参考 | | インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患) | 0.48 | 36%増 | 0.01 | 20歳以上_17% |

突発性発疹について、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2022/23年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第45週のコメント

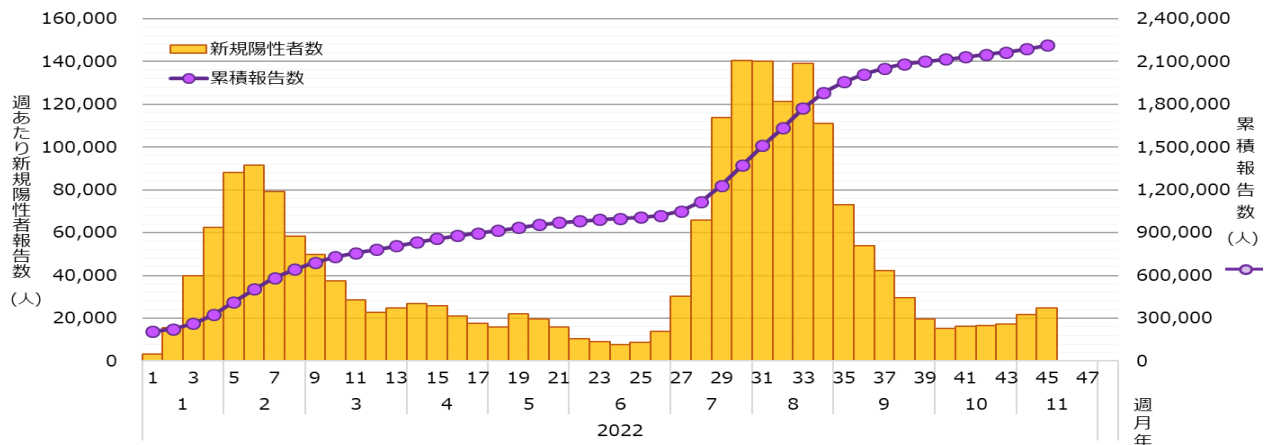
～新型コロナウイルス感染症～

基本的な予防の徹底を（マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避）

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

第45週の新型コロナウイルス感染症の週あたり新規陽性者報告数は24,660名であり、前週より13%増加した。大阪モデルは、11月8日に警戒解除（緑）から警戒信号（黄）に移行した。新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫・エアロゾル・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の肺炎症状が現れる。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、ワクチン接種、マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、隔離、接触者調査が重要である。



[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報\(国立感染症研究所\)](#) [新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)について\(大阪健康安全基盤研究所\)](#)

[新型コロナウイルス感染症関連特設サイト\(大阪府\)](#)

表2. 大阪府全数報告数（2022年 第45週11月7日～11月13日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

| | 疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略 | 報告数 | 豊能 | 三島 | 北河内 | 中河内 | 南河内 | 堺市 | 泉州 | 大阪市 | 府内累積報告数 |
|------------------|-----------------------------------------|------------------|-------------|----|-----|-----|-----|----|----|--------------------------------|-----------|
| | | | | | | | | | | | |
| 3類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 2 | 1 | | | | | | 1 | | 168 |
| 4類感染症 | デング熱 | 1 | | | | | | | | 1 | 13 |
| 5類感染症 | カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症 | 2 | | 1 | | | 1 | | | | 136 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 1 | | | | | | 1 | | | 32 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 1 | | | | | | | 1 | | 83 |
| | 梅毒 | 23 | | 1 | 3 | 2 | 3 | | | 14 | 1,487 |
| 新型インフルエンザ等感染症 | 新型コロナウイルス感染症 | 24,660 | 2020年1月以降累計 | | | | | | | | 2,212,175 |
| 結核 (2022年9月分) | 結核 新登録患者数：56名 | (内 肺・喀痰塗抹陽性 31名) | | | | | | | | (府内累積報告数 806名、内 肺・喀痰塗抹陽性 308名) | |

(2022年11月15日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。